



TeamConnect Ceiling Medium

シーリングマイクロホンアレイ

オリジナルHTMLマニュアルのPDF版



目次

1. 製品概要.....	3
同梱品.....	3
前面と背面.....	6
端子と操作部.....	8
アクセサリ.....	10
2. 取扱説明	12
設置計画と施工.....	12
ネットワークへの接続.....	12
アナログ音声信号の出力.....	13
デジタル音声信号の出力.....	15
設置計画.....	17
設置と起動.....	21
一般事項.....	21
バリエーション1：吊り天井／格子天井への埋込設置.....	23
バリエーション2：Ceiling Tile Elementを使用した吊り天井／格子天井への埋込設置.....	27
バリエーション3：天井直付け.....	30
バリエーション4：天井吊下げ.....	33
TeamConnect Ceiling MediumをVESAマウントに取り付ける.....	37
Sennheiser Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する.....	38
メディアコントロールシステムでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する.....	43
清掃とメンテナンス.....	44
3. 仕様.....	45
仕様.....	45
4. 規制情報.....	48
5. お問い合わせ.....	52



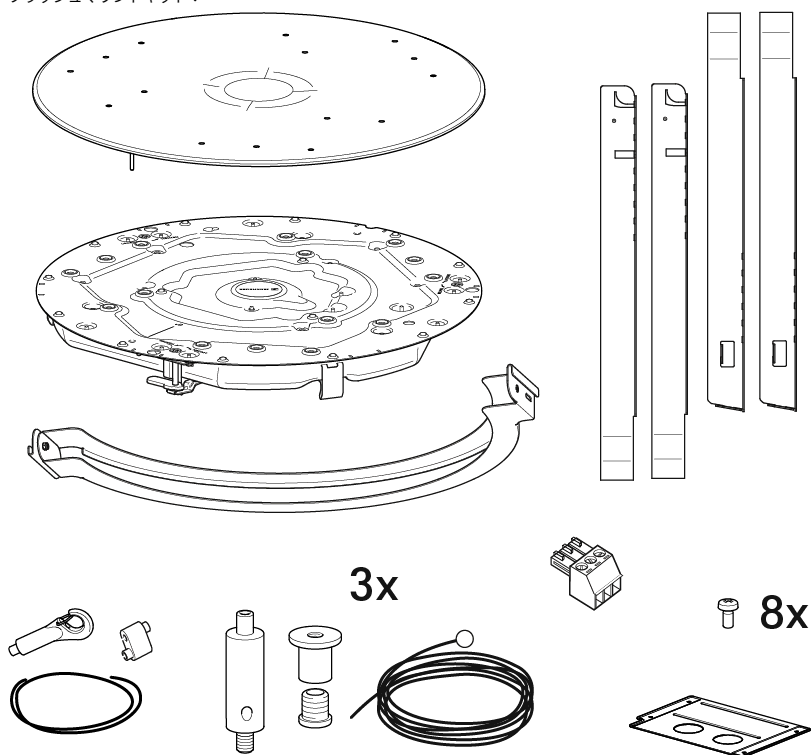
1. 製品概要

同梱品、本体の構造と接続端子、および利用可能なアクセサリについて説明します。

同梱品

TeamConnect Ceiling Mediumには、以下のバリエーションがあります。

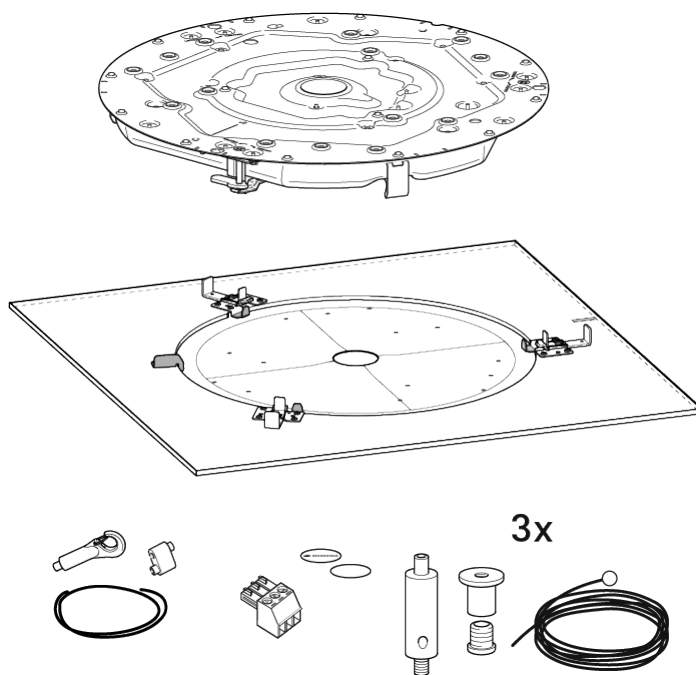
シーリングマイク
フラッシュマウントキット：



• TCC M-F-W: ホワイト, 品番 700170 • TCC M-F-B:
ブラック, 品番 700234

• TeamConnect Ceiling M
シーリングマイクロホン・
シーリング埋込取付キット・Front panel・
Chicagoジャンクションボックス
カバープレート・
シーリングサスペンションキット・設置ロープ・
3ピンPhoenixコネクター (3.81)・8 × M3×6
なべ頭ねじ

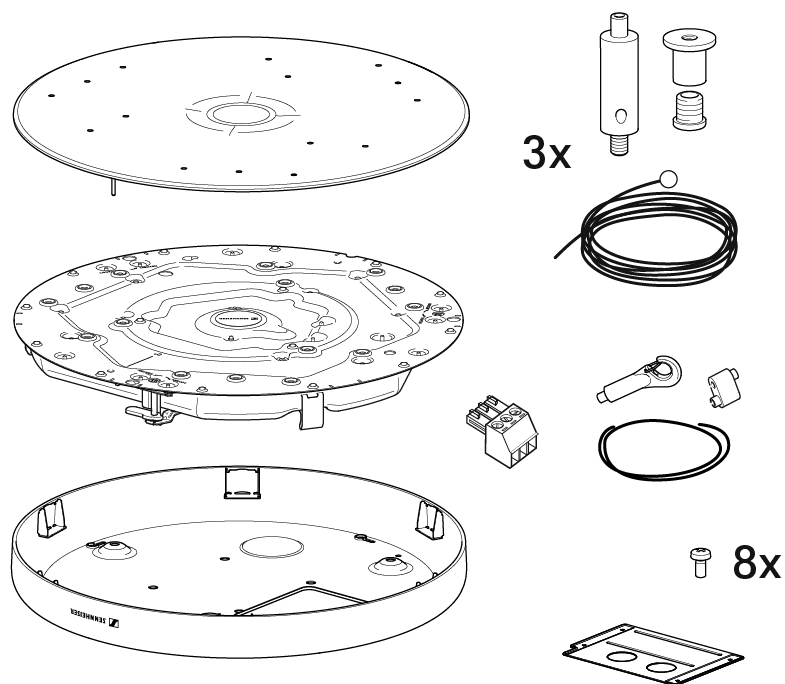
シーリングタイルキット
：



• TCC M CT-W: 60 cm グリッド天井セット, 品番 700517 •
TCC M CT-W 2FT: 2 ft グリッド天井セット, 品番 700518

• TeamConnect Ceiling M
シーリングマイクロホン • Ceiling
Tile取付プレート • 設置ロープ •
シーリングサスペンションキット •
3ピンPhoenixコネクタ (3.81)

シーリングマイクハウジングキット



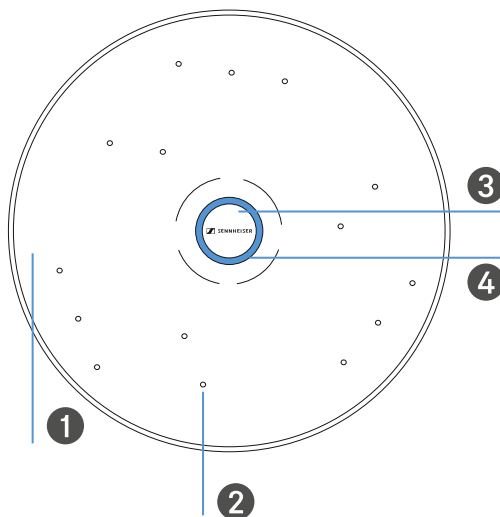
• TCC M-S-W: ホワイト, 品番 700294 • TCC M-S-B:
ブラック, 品番 700295

• TeamConnect Ceiling M
シーリングマイクロホン • デザインハウジング •
Front panel • Chicagoジャンクションボックス
カバープレート •
シーリングサスペンションキット • 設置ロープ •
3ピンPhoenixコネクター (3.81) • 8 × M3×6
なべ頭ねじ



前面と背面

前面



1 フロントパネル

2 マイクカプセル (15個)

3 交換式ロゴプレート

「ロゴプレートの交換」を参照

4 ステータスLEDリング

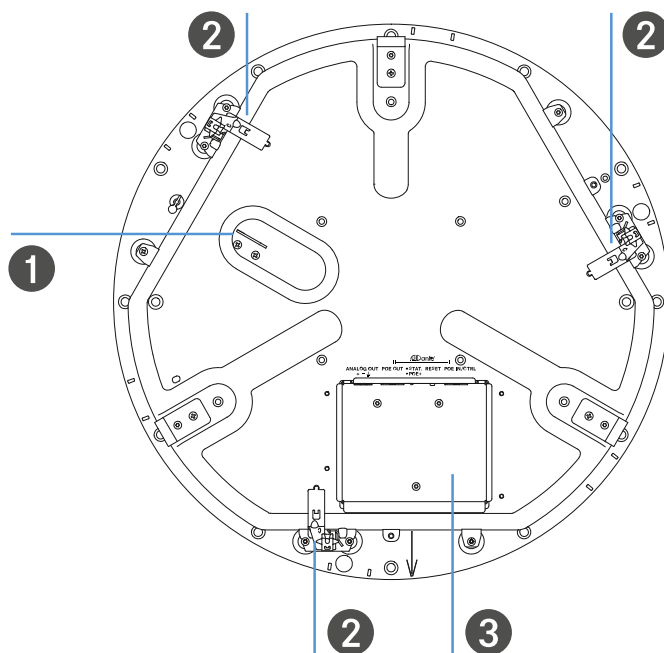
緑：電源オン（工場出荷時設定、変更可能）

赤：ミュート（工場出荷時設定、変更可能）

青：カスタムカラー（変更可能）



背面



1 セーフティワイヤー用フック

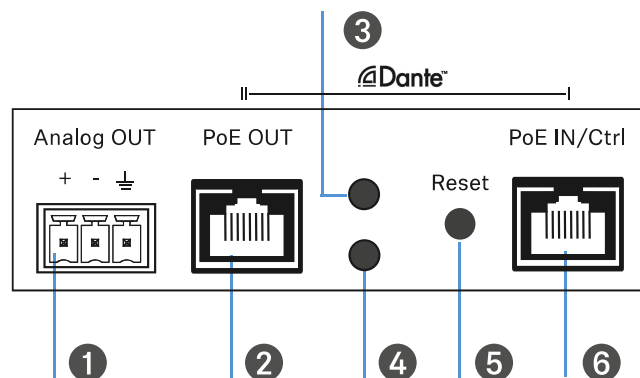
2 シーリングハウジング／デザインハウジング固定用クランプ

3 接続端子付きケーブル収納部

「端子と操作部」を参照



端子と操作部



1 Analog OUT

アナログ音声出力

3ピンソケット

Phoenix Contact MCVW 1.5-3-ST-3.81に対応

「アナログ音声信号の出力」を参照

2 PoE OUT

RJ-45ソケット

Dante II

デジチェーン接続

「デジタル音声信号の出力」を参照

3 デジチェーン ステータスLED

点滅：接続台数超過、または電源容量不足

点灯：デジチェーン機器接続中

4 PoE (Power over Ethernet) 給電ステータスLED

点灯：PoE接続／30-60 W給電

5 リセットボタン

工場出荷時設定に戻すには、リセットボタンを5秒以上長押しします。



6 PoE IN / CTRL

RJ-45ソケット

Dante I

PoEによる電源供給

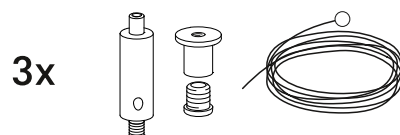
ソフトウェアまたはメディアコントロールシステムによる設定

「ネットワークへの接続」を参照



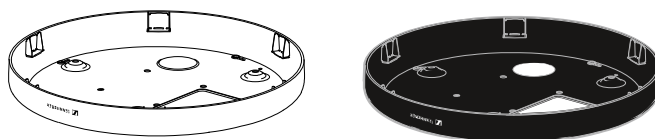
アクセサリ

シーリングサスペンションキット



TCC M SK | シーリングマイクM サスペンションキット | 品番 700237

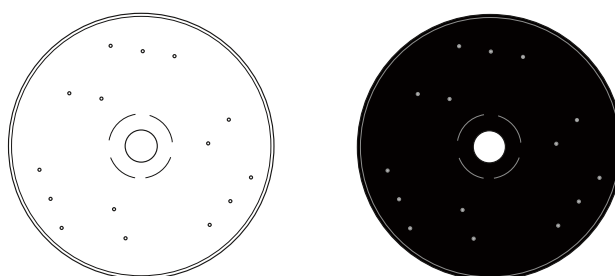
シーリングマイクロホンハウジング



TCC M H-W | シーリングマイクロホンハウジング, white | 品番 700238

TCC M H-B | シーリングマイクロホンハウジング, black | 品番 700239

フロントパネル

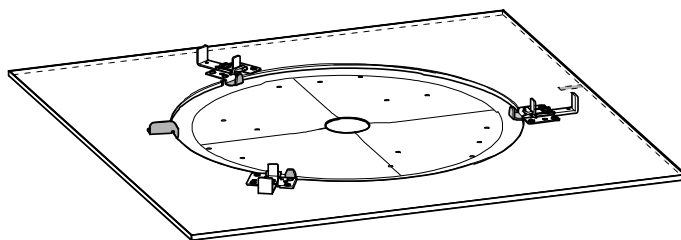


TCC M SFP | 交換用フロントパネル, white | 品番 700235

TCC M SFP | 交換用フロントパネル, black | 品番 700236



スクエアフロントパネル



TCC M CTFP-W | スクエアフロントパネル 60 cm | 品番 700515

TCC M CTFP-W 2FT | スクエアフロントパネル 2 ft | 品番 700516



2. 取扱説明

設置計画、施工、起動、操作、制御について説明します。

設置計画と施工

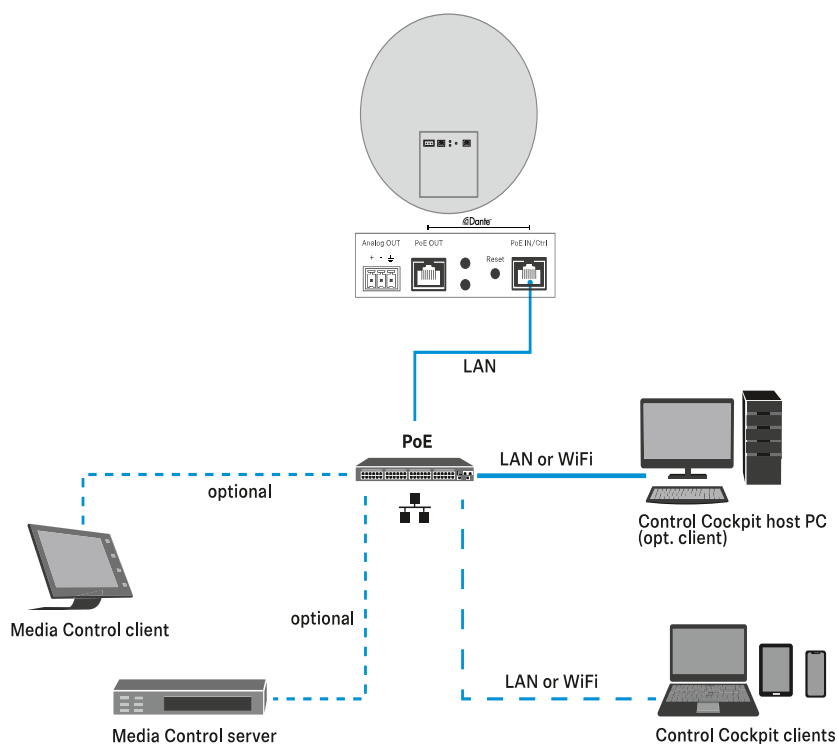
ネットワーク接続、音声出力、設置計画について説明します。

ネットワークへの接続

電源供給と設定

Ethernet PoE/Ctrl RJ-45ソケットは、Power over EthernetによるTeamConnect Ceiling Mediumへの給電と、Sennheiser Control Cockpitによる設定の両方に使用します（「Sennheiser Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する」を参照）。ネットワークでは、PoE対応スイッチまたはPoEインジェクターを使用できます。

i AWG 24以下のシールドSTPネットワークケーブルのみを使用してください。



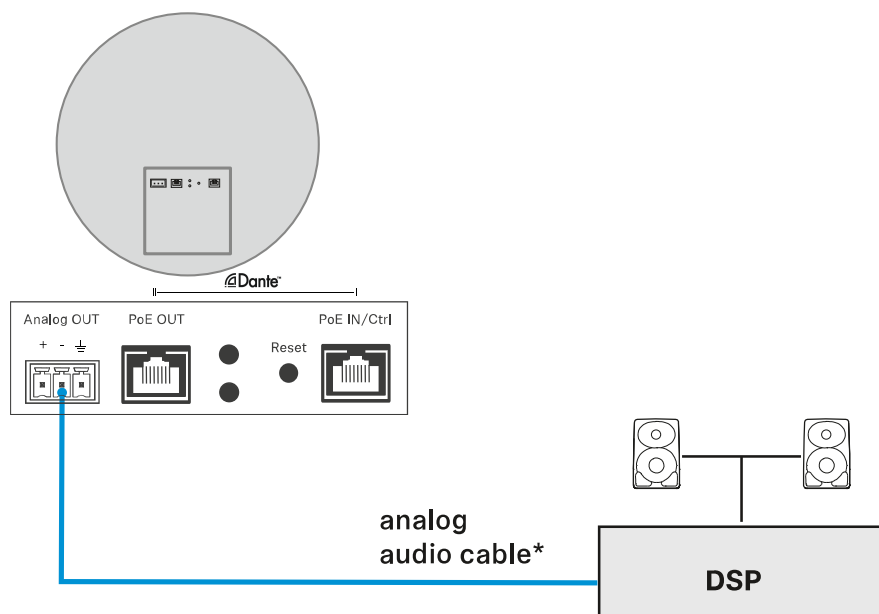


アナログ音声信号の出力

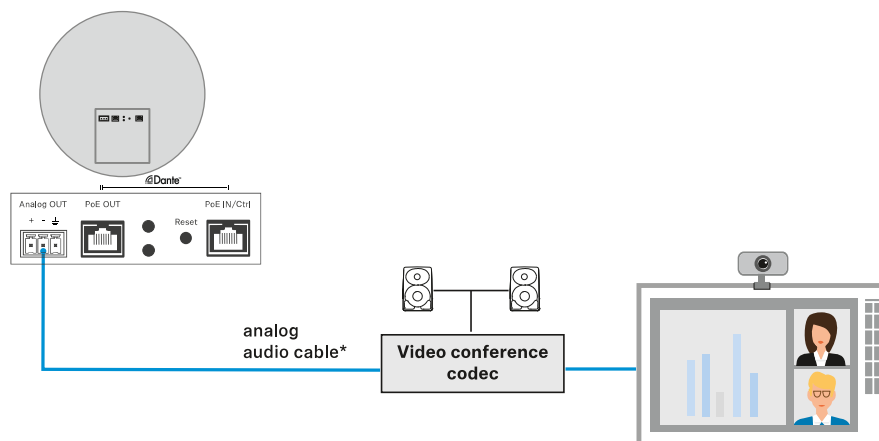
アナログ音声信号はAnalog Outソケットから出力します。

- i** *アナログ音声ケーブルは付属していません。DSPの音声入力に応じて、3ピン端子から3ピンXLR端子、またはフォーンジャックへ接続するケーブルを使用してください。

バリエーション1：アナログ音声信号をDSPへ出力

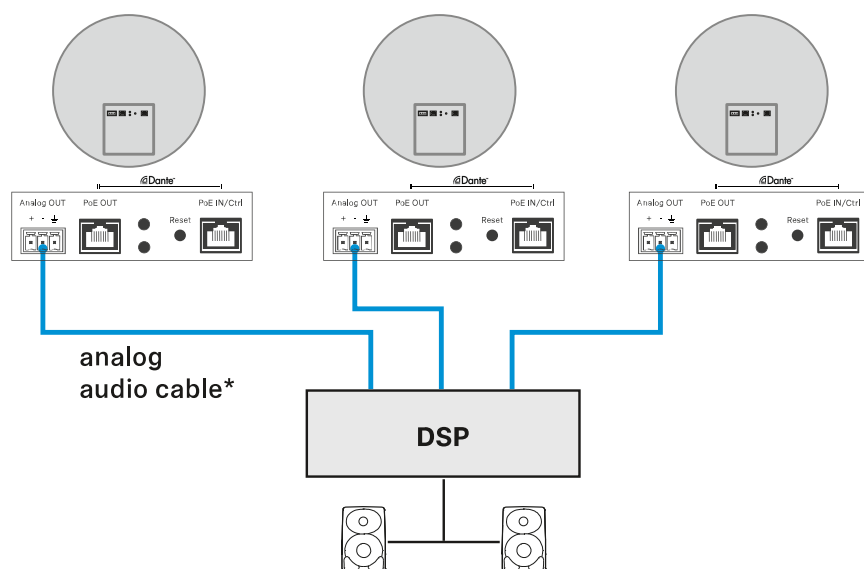


バリエーション2：アナログ音声信号をビデオ会議コーデックへ出力





バリエーション3：複数のシーリングマイクからのアナログ音声信号を
1台のDSPへ出力

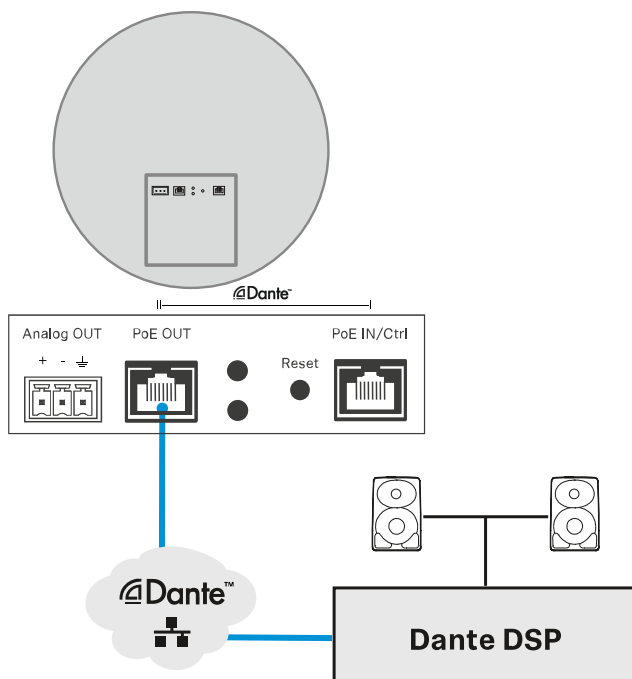




デジタル音声信号の出力

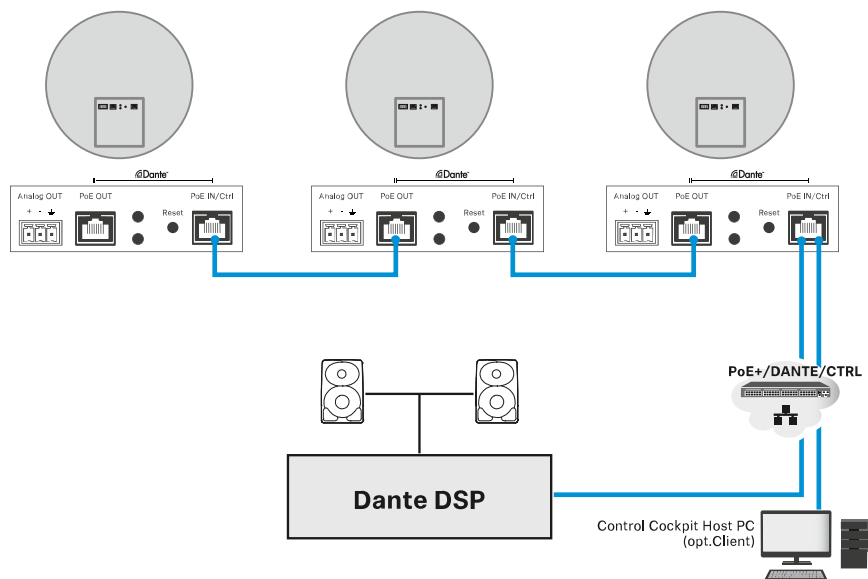
2つのRJ-45ソケットを備えたDanteインターフェースからデジタル音声信号を出力します。冗長出力と、複数のシーリングマイクの直列接続（スイッチドモード）に対応します。モードはAudinateのDante Domain ManagerまたはDante Controller（www.audinate.com）で設定します。

バリエーション1：デジタル音声信号を1つのDanteネットワークへ出力





バリエーション2：複数のシーリングマイクからのデジタル音声信号を
直列接続して1つのDanteネットワークへ出力



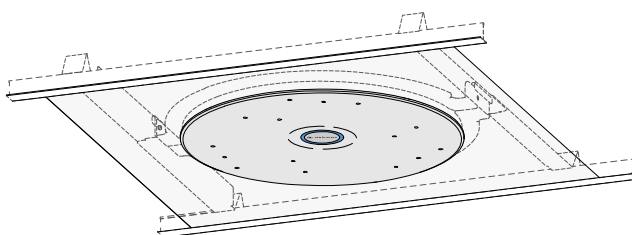


設置計画

設置方法

i 詳しい設置手順は「設置と起動」を参照してください。

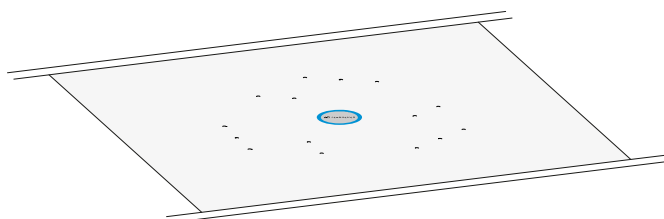
バリエーション1：吊り天井／格子天井への埋込設置



シーリングマイク取付キット：TCC M-F-W（ホワイト）またはTCC M-F-B（ブラック）

- 「バリエーション1：吊り天井／格子天井への埋込設置」を参照

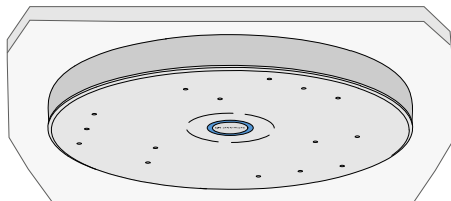
バリエーション2：Ceiling Tileパネルを使用した吊り天井／格子天井への埋込設置



シーリングマイク取付キット：TCC M CTFP-W または TCC M CT-W 2FT

- 「バリエーション2：Ceiling Tile Elementを使用した吊り天井／格子天井への埋込設置」を参照

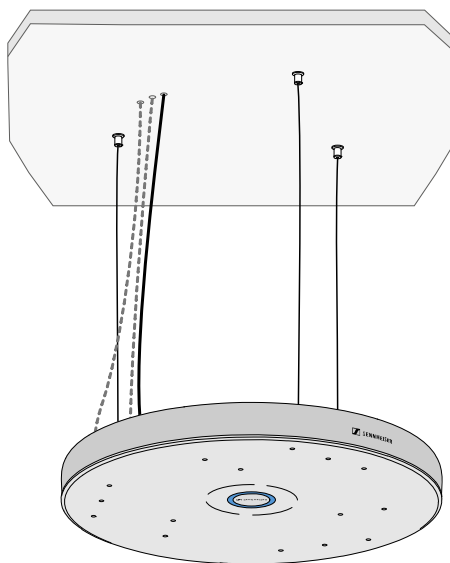
バリエーション3：天井直付け



シーリングマイクハウジングキット：TCC M-S-W（ホワイト）またはTCC M-S-B（ブラック）

- 「バリエーション3：天井直付け」を参照

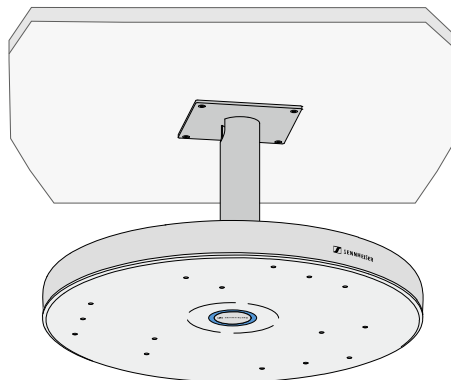
バリエーション4：天井吊下げ



必要なアクセサリ：

- 「バリエーション4：天井吊下げ」を参照

VESAマウント



設置情報：

- 「TeamConnect Ceiling MediumをVESAマウントに取り付ける」を参照

設置高さの調整

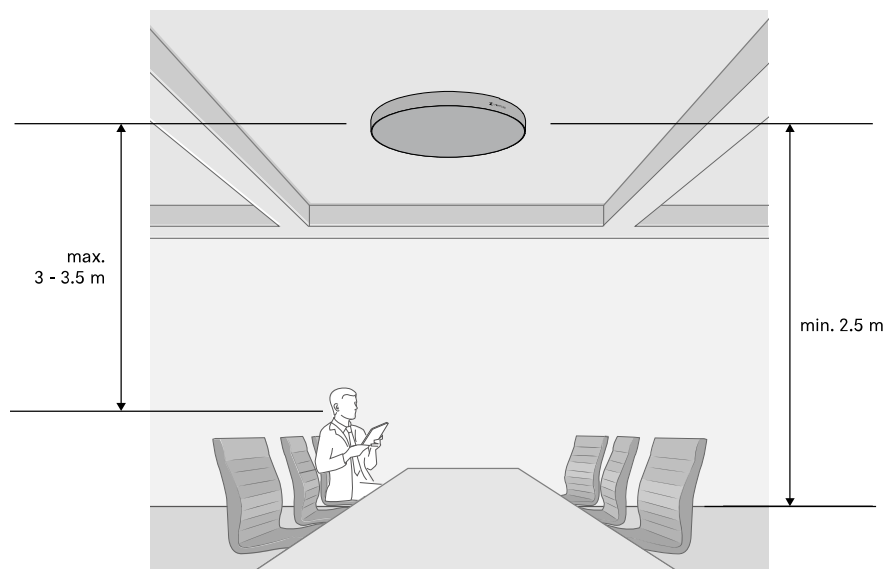
- i** TeamConnect Ceiling Mediumを設置する際は、以下の最小／最大距離を守ってください。

話者からTeamConnect Ceiling Mediumまでの推奨最大距離は3～3.5 mです。

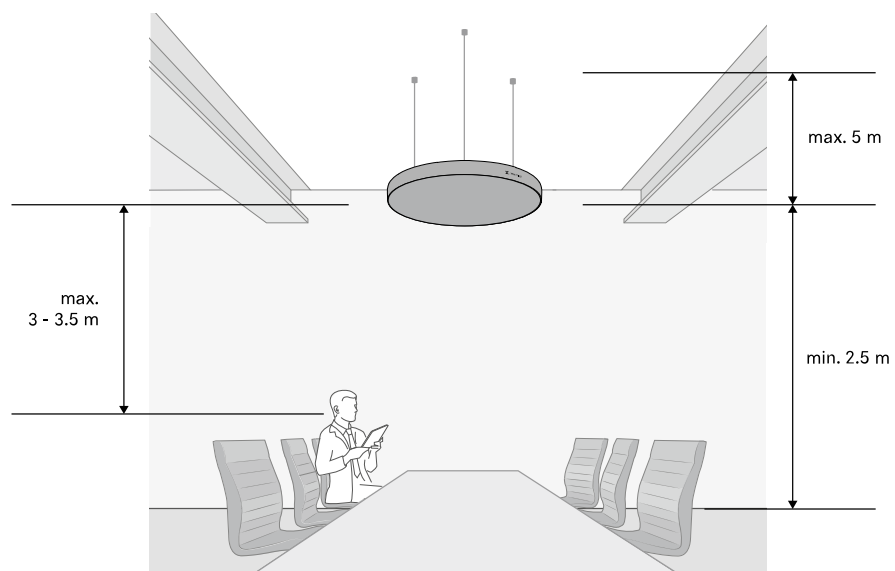
TeamConnect Ceiling Mediumから床までの最小距離は2.50 mです。

- i** 室内高さのためバリエーション1または2で推奨最大距離を超える場合は、バリエーション3を推奨します。

バリエーション1・2の推奨距離：



バリエーション3の推奨距離：





設置と起動

本機の取付と設定手順について説明します。

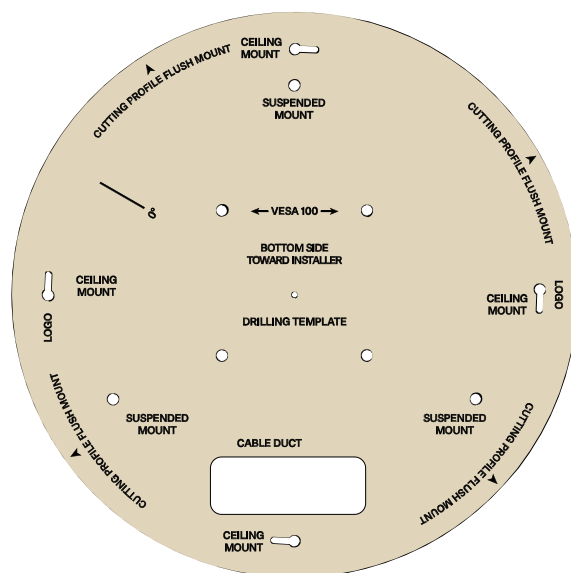
- i** TeamConnect Ceiling 2とは異なり、TeamConnect Ceiling Mediumはマイクがミュートされた状態で出荷されます。初回使用前にSennheiser Control Cockpitで本機を設定し、マイクのミュートを解除してください（「Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する」を参照）。

1. ネットワークへ接続 2. Sennheiser Control Cockpitをダウンロード 3. Control Cockpitで本機を初期化（初期パスワード：

「sennheiser」） 4. 新しいパスワードを設定 5. 本機を設定し、マイクのミュートを解除

一般事項

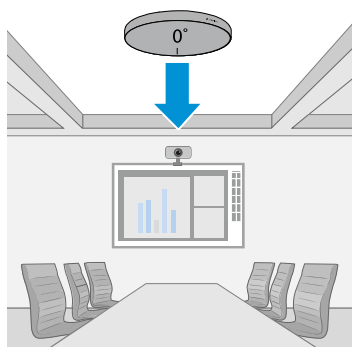
穴あけテンプレート



- ▶ 付属の穴あけテンプレート（品番594561）を使用して、取付穴と本体外周をマーキングしてください。



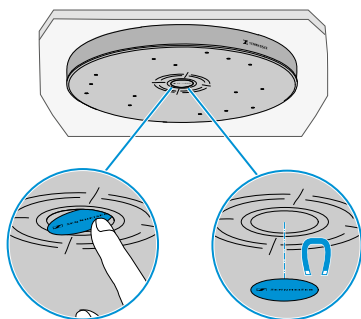
カメラ方向



- ▶ 取付前にマイクの向きを合わせてください。向きは「0°」マークで確認できます。

ロゴプレートの交換

マイク前面のロゴプレートを交換する場合：



- ▶ プレート側面を押して傾けます。
- ▶ プレートをハウジングから取り外します。
- ▶ 新しいプレートを差し込みます。マグネットで固定されます。



バリエーション1：吊り天井／格子天井への埋込設置

TeamConnect Ceiling Mediumは、吊り天井または閉鎖天井へ容易に埋込設置できます。

TCC

M-Fにはこの用途のシーリング埋込取付キットが付属します。埋込設置時は、天井内の照明器具やその他の電気機器のすぐ隣にTeamConnect Ceiling Mediumを設置しないでください。

注意



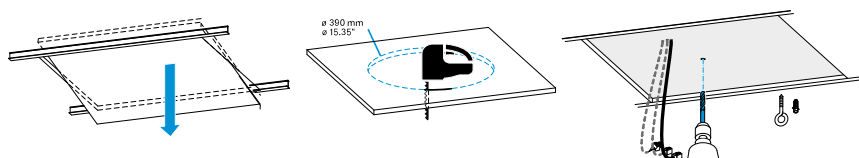
製品落下による物的損害のおそれ

正しく取り付けないと製品が落下するおそれがあります。

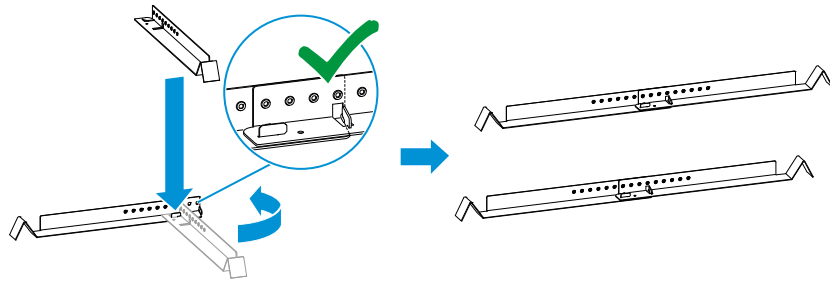
- ▶ 天井へ設置する場合は、TeamConnect Ceiling Mediumの落下防止措置を必ず追加してください。例えば付属のTCC M SKシーリングサスペンションキット（「バリエーション4：天井吊下げ」を参照）に加え、付属の設置ロープを天井フックとマイク上部に固定してください。

シーリング埋込取付キットの取付

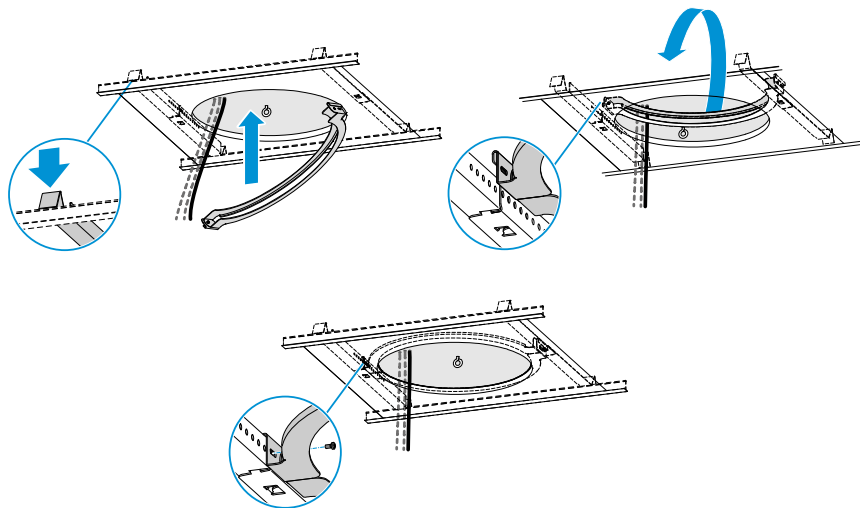
- ▶ 天井パネルを1枚取り外します。
- ▶ 付属の穴あけテンプレートで外周をマーキングし、開口部を切り抜きます。
- ▶ 適切なアンカーを使用して、設置ロープ固定用のアイボルトを天井に取り付けます。
- ▶ 天井パネルを元に戻します。



- ▶ シーリング埋込取付キットの縦材同士を直角に引っ掛け、まっすぐ伸ばしてカチッと固定されるまで組み立てます。



- ▶ 縦材を格子天井のクロスバー上に載せます。
- ▶ Cリングを閉じた状態または少し開いた状態で開口部へ通し、展開します。
- ▶ Cリング両側のタブを縦材へスライドさせます。
- ▶ 付属ねじを両側のスロットへ通し、シーリング埋込取付キットを固定します。



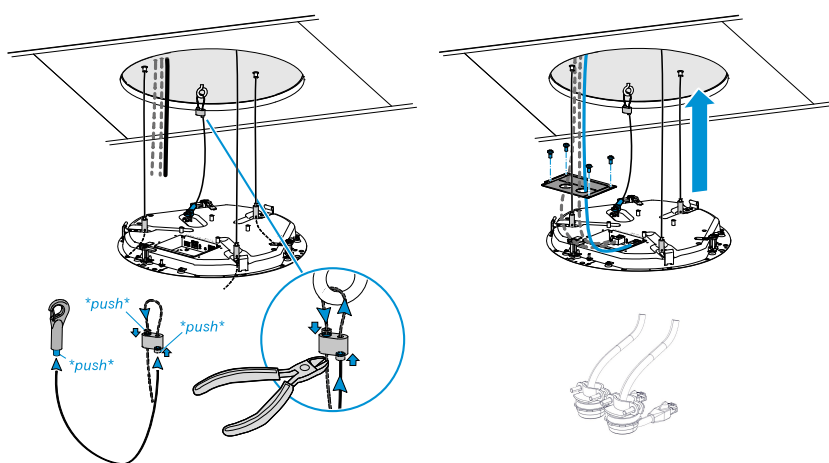
マイクの固定と接続

- ▶ 図のように設置ロープを取り付け、保持フックとマイクへ固定します。
- ▶ 必要に応じてTCC M
SKシーリングサスペンションキットを取り付けます（「バリエーション4：天井吊下げ」を参照）。
- ▶ 必要なケーブルを接続します。
- ▶ 必要に応じて、カバープレート（付属）とパイプクランプ（別売）を取り付けられます。



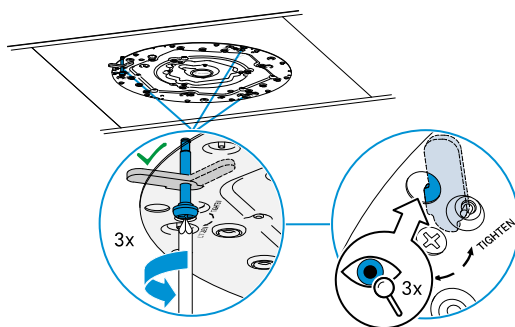
- i 推奨配線 ケーブルを接続・配線する際は、以下を守ってください
:
- ケーブルは設置用開口部の内部で、丁寧にループ状に配線してください。•断線やコネクタ破損を防ぐため、ケーブルを折り曲げないでください。

- ▶ マイクを天井方向へ持ち上げ、ロープを張って余分な長さを切り取ります。

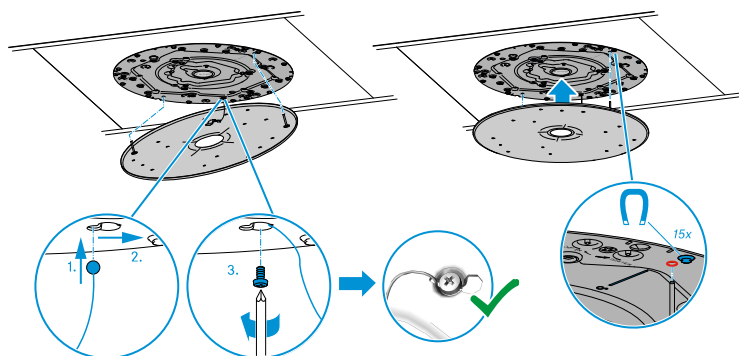


マイクの固定とフロントパネルの取付

- ▶ 片手でマイクをシーリング埋込フレーム内に保持し、もう片方の手で3つのクランプを締めます。
- ▶ 点検穴から、クランプが正しく締まり、マイクがフレームに確実に固定されていることを確認します。



- ▶ 図のようにフロントパネルの落下防止ロープをマイクの対応する溝へ差し込み、付属ねじで固定します。



- ▶ 保持プレートの2本のピンをマイクの対応する穴（赤色表示）へ差し込みます。マグネットでフロントパネルがマイクに固定されます。



バリエーション2：Ceiling Tile Elementを使用した吊り天井／格子天井への埋込設置

Ceiling Tile Elementを使用すると、既存の天井パネルを切り抜かずにTeamConnect Ceiling Mediumを埋込設置できます。

この設置にはTCC M CTFP-WまたはTCC M CT-Wが必要です。埋込設置時は、天井内の照明器具やその他の電気機器のすぐ隣にTeamConnect Ceiling Mediumを設置しないでください。

注意



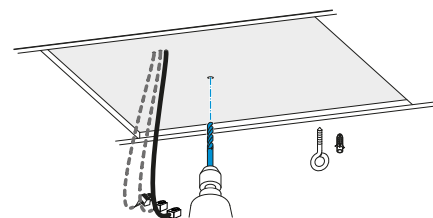
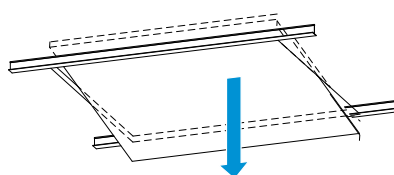
製品落下による物的損害のおそれ

正しく取り付けないと製品が落下するおそれがあります。

- ▶ 天井へ設置する場合は、TeamConnect Ceiling Mediumの落下防止措置を必ず追加してください。例えば付属のTCC M SKシーリングサスペンションキット（「バリエーション4：天井吊下げ」を参照）に加え、付属の設置ロープを天井フックとマイク上部に固定してください。

シーリング埋込取付キットの取付

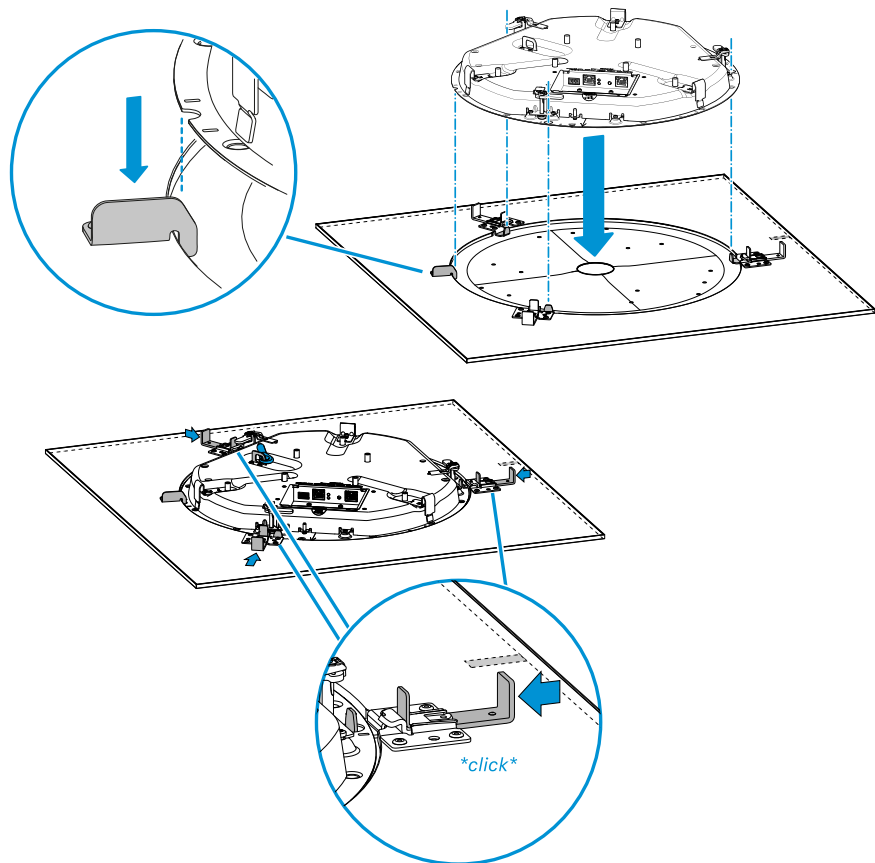
- ▶ 天井パネルを1枚取り外します。
- ▶ 適切なアンカーを使用して、設置ロープ固定用のアイボルトを天井に取り付けます。



- ▶ マイクをCeiling Tileパネルへ取り付けます。取付位置は1か所のみです。図のように、パネルの金属突起をマイク側の対応する溝へ差し込んでください。



- ▶ 次に、パネルの3つのラッチでマイクを固定します。「カチッ」と音がするまで確実にはめ込んでください。



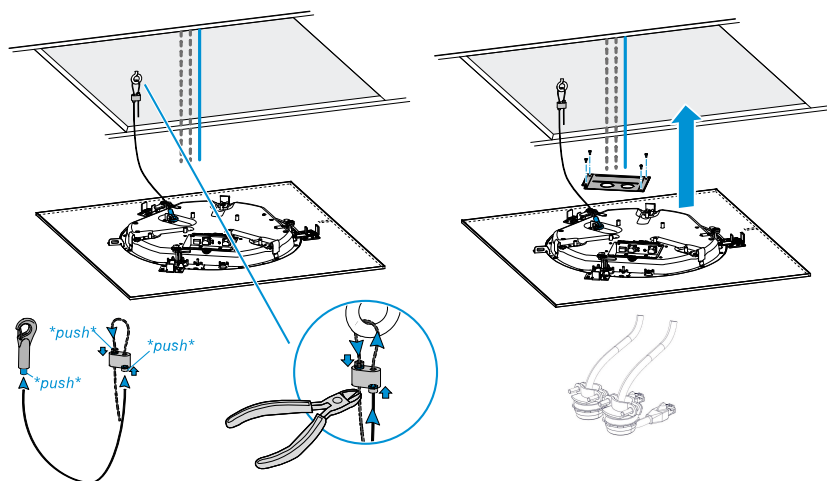
マイクの固定と接続

- ▶ 図のように設置ロープを取り付け、ハウジングとマイクへ固定します。
- ▶ TCC M
SKシーリングサスペンションキットを取り付けます（「バリエーション4：天井吊下げ」を参照）。
- ▶ 必要なケーブルを接続します。
- ▶ 必要に応じて、カバープレート（別売）とパイプクランプ（別売）を取り付けられます。

- i** 推奨配線 ケーブルを接続・配線する際は、以下を守ってください
：
- ケーブルは設置用開口部の内部で、丁寧にループ状に配線してください。•断線やコネクター破損を防ぐため、ケーブルを折り曲げないでください。



- ▶ マイクを天井方向へ持ち上げ、ロープを張って余分な長さを切り取ります。



マイクの挿入

- ▶ Ceiling Tileに取り付けたマイクを天井へ設置します。



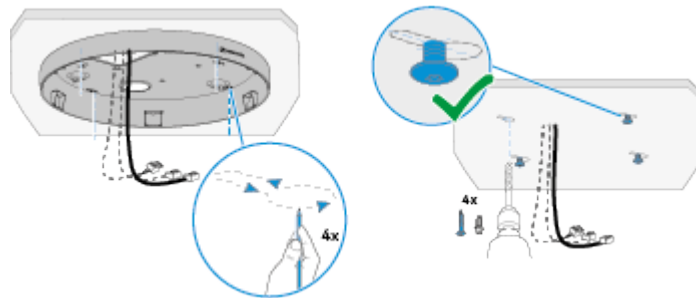
バリエーション3：天井直付け

天井直付けにはTCC M-S-WまたはTCC M-S-B、もしくはTCC M-H-WまたはTCC M-H-Bシーリングマイクロホンハウジングが必要です。

- i** 製品を天井へ固定するねじとアンカーは付属していません。天井の材質・構造に適したねじとアンカーを使用してください。

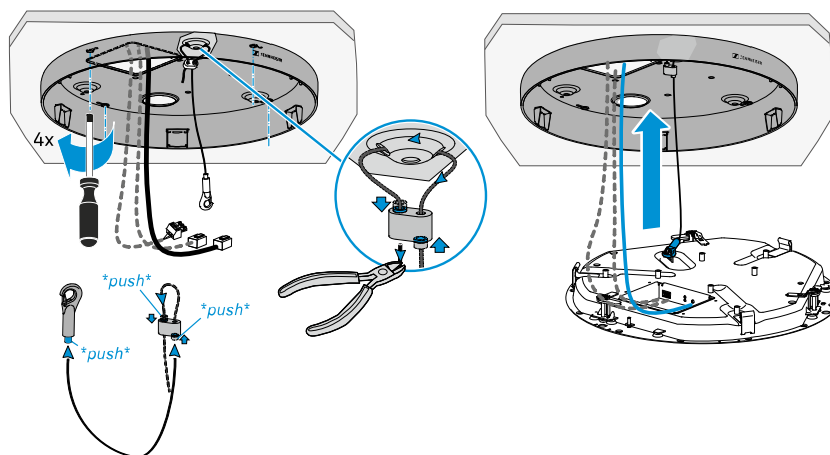
天井取付フレームの取付

- ▶ 穴あけテンプレートまたはハウジングを使って、天井に取付穴位置をマーキングします。
- ▶ ねじをキーホール中央に配置します。



マイクの固定と接続

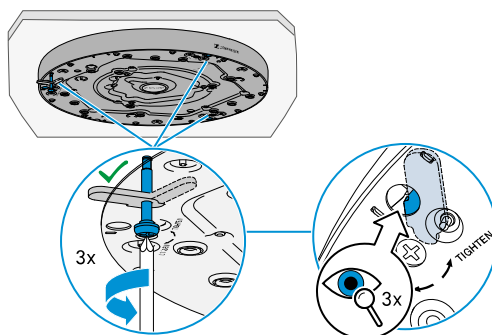
- ▶ 図のように設置ロープを取り付け、ハウジングとマイクへ固定します。
- ▶ 必要なケーブルを接続します。
- ▶ マイクを天井方向へ持ち上げ、設置ロープを張って余分な長さを切り取ります。



- i** ケーブルを接続・配線する際は、設置用開口部内で丁寧にループ状に配線してください。断線やコネクタ破損を防ぐため、ケーブルを折り曲げないでください。

マイクの固定とフロントパネルの取付

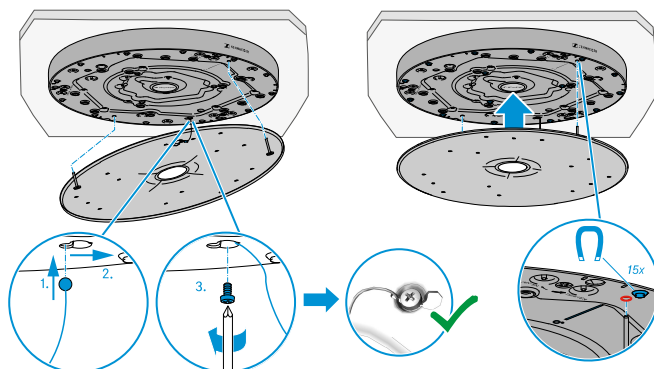
- ▶ 片手でマイクをハウジング内に保持し、もう片方の手で3つのクランプを締めます。注意：左ねじです。
- ▶ 点検穴から、クランプが正しく締まり、マイクがハウジングに確実に固定されていることを確認します。



- ▶ 図のようにフロントパネルの落下防止ロープをマイクの対応する溝へ差し込み、付属ねじで固定します。



- ▶ 保持プレートの2本のピンをマイクの対応する穴（赤色表示）へ差し込みます。マグネットでフロントパネルがマイクに固定されます。





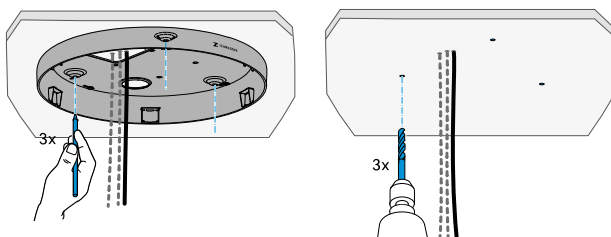
バリエーション4：天井吊下げ

吊下げ設置にはTCC M-SKシーリングサスペンションキットが必要です。

- i** 製品を天井へ固定するねじとアンカーは付属していません。天井の材質・構造に適したねじとアンカーを使用してください。

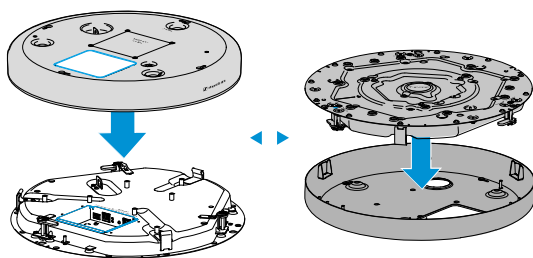
取付穴位置のマーキング

- ▶ 穴あけテンプレートまたはハウジングを使って、天井に取付穴位置をマーキングします。

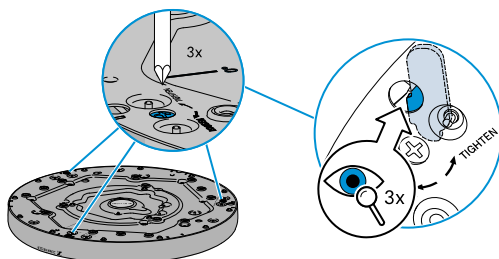


マイクの事前取付

- ▶ マイクをハウジングへ入れるか、ハウジングをマイクへかぶせます。
▶ マイクの溝とハウジングの対応する穴が合っていることを確認します。



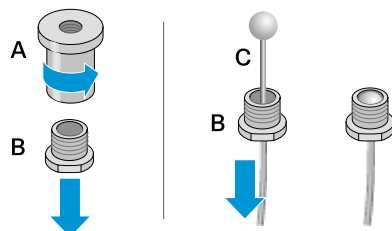
- ▶ 3つのクランプでマイクを固定します。注意：左ねじです。





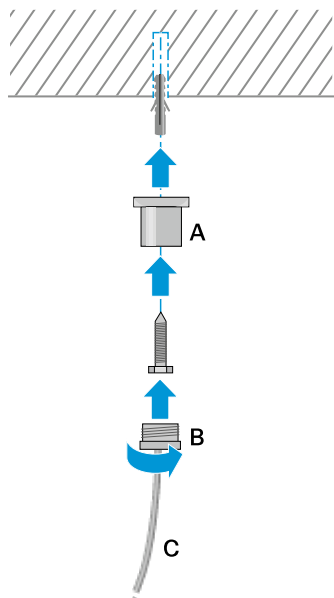
天井側ファスナーの準備

- ▶ 天井側ファスナーの部品Aを部品Bから外します。
- ▶ スチールケーブルCを部品Bへ通し、ケーブル端のボールが部品B内に入るようにします。
- ▶ 残り3か所も同じ手順で行います。

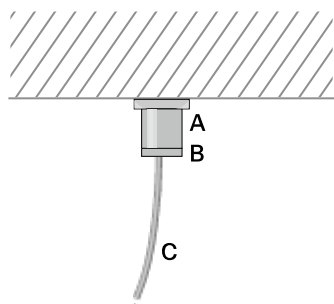


天井側ファスナーの取付

- ▶ 適切なアンカーとねじを使用して、天井側ファスナーの部品Aを天井に固定します。
- ▶ 付属の穴あけテンプレートで取付穴位置を合わせます。



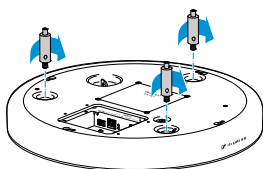
- ▶ 次に、天井側ファスナーの部品Bを部品Aへねじ込みます。
- ▶ 残り3か所も同じ手順で行います。



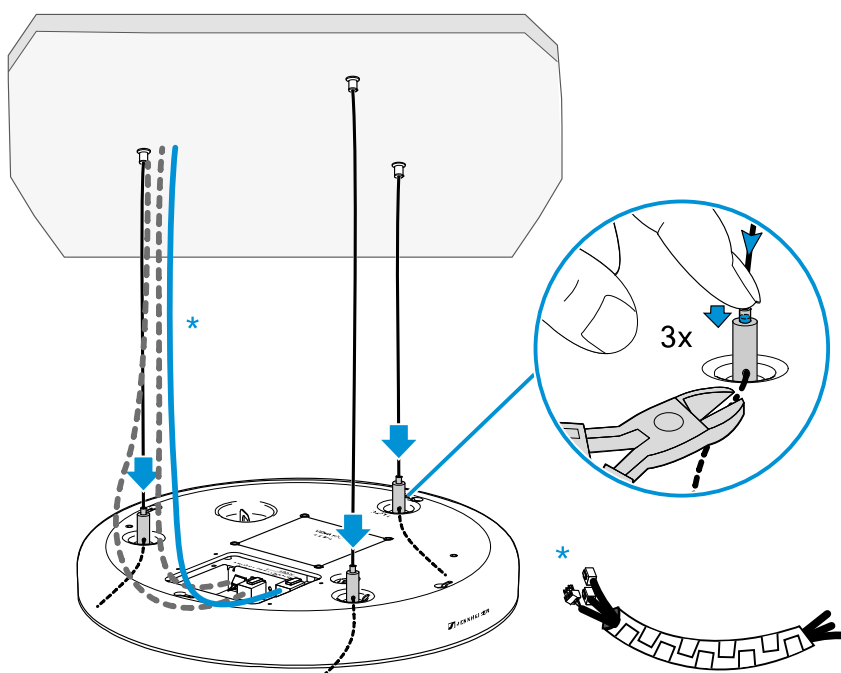


製品側ファスナーの取付

- ▶ 図のように、製品側ファスナーをTeamConnect Ceiling Medium上面のねじ穴へねじ込みます。



- ▶ 製品側ファスナーのケーブルガイドを指で押し込みながらスチールケーブルをスライドし、ケーブルCを希望の長さに調整します。

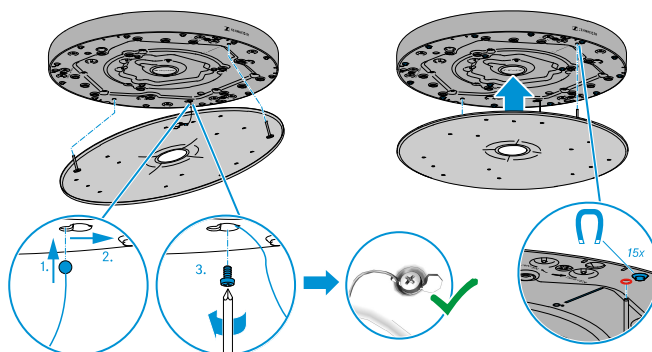


- ▶ 適切なペンチで余分なスチールケーブルを切断します。
- ▶ 残り3か所も同じ手順で行います。
- ▶ 必要なケーブルを接続します。
- ▶ 必要に応じて、ケーブルコンジット（別売）でケーブルを束ねます。



フロントパネルの取付

- ▶ 図のようにフロントパネルの落下防止ロープをマイクの対応する溝へ差し込み、付属ねじで固定します。
- ▶ 保持プレートの2本のピンをマイクの対応する穴（赤色表示）へ差し込みます。マグネットでフロントパネルがマイクに固定されます。

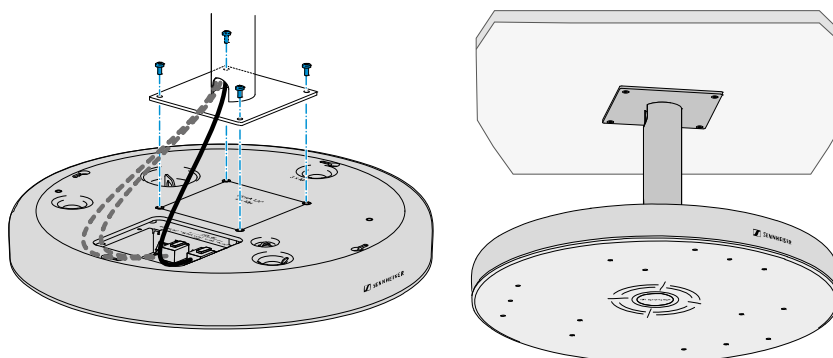




TeamConnect Ceiling MediumをVESAマウントに取り付ける

TeamConnect Ceiling Mediumは標準VESA MIS Dマウントへ取り付けできます。

- ▶ 適切なねじとアンカーで天井マウントを天井へ固定します。
- ▶ 取付金具メーカーの取付仕様に従ってください。
- ▶ 次に、図のようにTeamConnect Ceiling MediumをVESAマウント（M4 × 0.7 × 10 mm）へ取り付けます。





Sennheiser Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する

- i** TeamConnect Ceiling 2とは異なり、TeamConnect Ceiling Mediumはマイクがミュートされた状態で出荷されます。初回使用前にSennheiser Control Cockpitで本機を設定し、マイクのミュートを解除してください（「Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する」を参照）。

1. ネットワークへ接続 2. Sennheiser Control Cockpitをダウンロード 3. Control Cockpitで本機を初期化（初期パスワード：

「sennheiser」） 4. 新しいパスワードを設定 5. 本機を設定し、マイクのミュートを解除

Sennheiser Control Cockpitのダウンロード

- i** Sennheiser Control Cockpitを使用するには、メールアドレスで初回登録を行い、ソフトウェアのアクティベーションコードを取得する必要があります。

- ▶ TeamConnect Ceiling Mediumの設定・使用には、無料のSennheiser Control Cockpitが必要です。sennheiser.com/control-cockpitからダウンロードできます。
- ▶ 本製品の初回設定／初期化にはSennheiser Control Cockpitを使用してください。
- ▶ 初回設定後はメディアコントロールシステムからも操作できます。ただし、すべての機能を利用するにはSennheiser Control Cockpitを使用してください。

特定のControl CockpitインスタンスへTeamConnect Ceiling Mediumを登録する（ネットワーク構成）

- i** 本機の初期設定を行うには、LANケーブル（RJ45）でネットワークへ直接接続します。

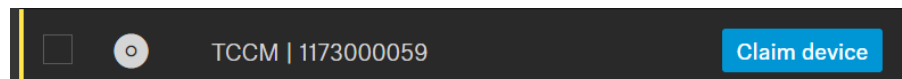
- ▶ 本機を特定のControl Cockpitインスタンスに紐付け、認証なしでネットワーク経由の操作が行われることを防ぐ「デバイス登録」機能があります。通信は暗号化され、設定したパスワードでのみ操作できます。



- ▶ TCC MをControl Cockpitインスタンスへ登録するには、本機の「Control」ネットワークポート（PoE+ソケット）をネットワークへ接続します。

i CAT5e（F/STP）以上のネットワークケーブルのみを使用してください。

- ▶ Control Cockpitを開き、「Device list」画面をクリックします。
 - ✓ 新しい機器は自動検出され、「Not claimed」と表示されます。機器がDevice listに表示されない場合は、IPアドレスを入力して手動追加します。



i すべての機能を使用するには、事前に機器を登録する必要があります。

- ▶ 「Claim device」をクリックし、初期パスワード「sennheiser」を入力します。

Claim device

1/2

Enter the device password in order to view and edit the device settings.
You can find information on the factory default password in the device's user manual.

Device Name	Device Password
TCCM 1173000059	

NextCancel



- i** 本機が別のControl Cockpitインスタンスに登録済みの場合は、以前設定したパスワードを入力します。パスワードを忘れた場合は本機をハードウェアリセットし、初期パスワードで再試行してください。

安全なアクセスを確保するため、すぐに新しいパスワードの設定を求められます。

Claim device 2/2

Please enter a new password for this device.

Please remember this password, as it will be needed in case the device shall be claimed again in the future. It cannot be displayed in the application.

The new password has to be at least 10 characters long and contain at least one of each: lowercase letter (a..z), uppercase letter (A..Z), digit (0..9), special character.

New Password

Back Set Password Cancel

- ▶ 新しいパスワードを入力して「Set password」をクリックします。これで本機がControl Cockpitインスタンスに登録され、すべての機能を使用できます。

- i** 新しいパスワードは以下の条件を満たす必要があります：

- 10文字以上 •大文字を1文字以上
- 小文字を1文字以上
- 数字を1文字以上
- 特殊文字を1文字以上 •最大64文字

機器パスワードは、機器ページの「Access」タブで変更できます。

新しいControl Cockpitインスタンスをインストールし、設定済みの機器パスワードを入力して登録することもできます。



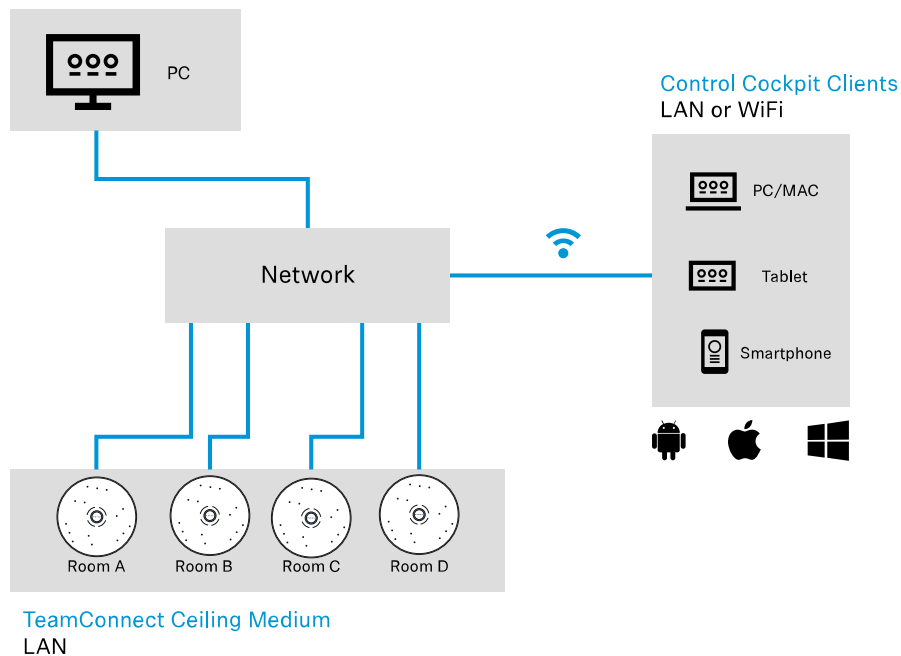
Sennheiser Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する

i Sennheiser Control CockpitでTeamConnect Ceiling Mediumを操作する方法は2通りあります：

- バリエーション1：既存ネットワークへ統合
- バリエーション2：PCとPoE対応ネットワークスイッチを使用したスタンドアロン構成

- ▶ **バリエーション1 - TeamConnect Ceiling Mediumを既存ネットワークへ統合** Sennheiser Control Cockpitは、設定するTeamConnect Ceiling Mediumと同一ネットワーク上のホストPC（Windows 7以降）へインストールします。ホストPC上でWindowsサービスとして動作します。
- ▶ ネットワーク上のブラウザー対応機器（PC/Mac、タブレット、スマートフォンなど）から、ブラウザーで指定URLへアクセスしてControl Cockpit Clientを操作できます。

Host PC: Control Cockpit Server
LAN



i Sennheiser Control Cockpitの機能、TeamConnect Ceiling Mediumおよびネットワークの設定方法はオンラインヘルプに詳しく記載されています。オンラインヘルプは製品ページ（sennheiser.com/control-cockpit）およびソフトウェア内から参照できます。



- ▶ バリエーション2 - スタンドアロンでTeamConnect Ceiling MediumをPCとPoE対応ネットワークスイッチへ接続：ネットワークへ統合せずPCで設定する場合は、Cat5e以上のネットワークケーブルでPCをPoE対応ネットワークスイッチへ接続します。PoEインジェクターも使用できます。
- ▶ ネットワークスイッチをTeamConnect Ceiling MediumのEthernet PoE/Ctrlソケットへ接続します。

Host PC: Control Cockpit server
and Control Cockpit client

TeamConnect Ceiling Medium



PoE injector

PoE IEEE 802.3af Class 3 or
PoE IEEE 802.3at / Type 2 /
Class 4 (when cascaded)



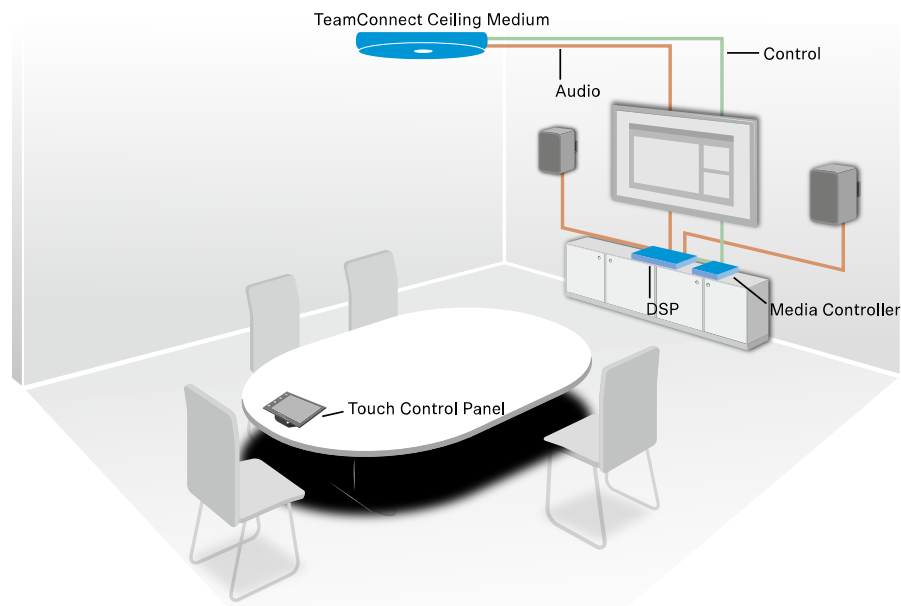
メディアコントロールシステムでTeamConnect Ceiling Mediumを設定する

Sennheiser Control Cockpitで初期設定した後は、メディアコントロールシステムからもTeamConnect Ceiling Mediumを操作できます。

メディアコントロールシステムでは、カスタムUIから以下の機能を利用できます：

- ミュート制御
- 音声パラメーター編集（出力レベル調整、マイクレベル表示、EQ設定）
- LED制御 • 話者位置情報の送信

構成例：



i TeamConnect Ceiling Mediumのメディアコントロールプロトコルは、製品ページ sennheiser.com/tc-ceiling-medium からPDFでダウンロードできます。



清掃とメンテナンス

注意



液体により製品の電子回路が損傷するおそれがあります

製品内部に液体が入ると、短絡して電子回路を損傷するおそれがあります。

- ▶ 製品に液体を近づけないでください。
- ▶ 溶剤や洗剤を使用しないでください。
- ▶ 清掃前に製品を電源から切り離し、充電式バッテリーや電池がある場合は取り外してください。
- ▶ 製品は柔らかい乾いた布でのみ清掃してください。

1. 清掃前に製品を電源から切り離します。
2. 柔らかい乾いた布でのみ清掃します。



3. 仕様

製品仕様、音響特性、使用環境、ポーラーダイアグラム、周波数特性を記載します。

仕様

製品仕様

外形寸法 (Ø×H)

- 407 × 46 mm
- 590.8 mm × 590.8 mm × 45.8 mm (Ceiling Tile)
- 606.5 mm × 606.5 mm × 45.8 mm (Ceiling Tile 2ft)

質量

- 4.9 kg 最大 • 4.5 kg
(Ceiling Tile) • 4.6 kg
(Ceiling Tile 2ft)

音声出力

- 1 × 3ピン接続ソケット (Phoenix Contact MCVW 1.5-3-ST-3.81対応) • 1 × Danteデジタルネットワーク音声 (RJ-45)

ネットワーク／制御

- 1 × RJ-45 Ethernetソケット (PoE給電およびデータ／制御)

電源

- PoE IEEE 802.3af Class 3、またはPoE IEEE 802.3at / Type 2 / Class 4 (カスケード接続時)

消費電力

- 約 8 W

安全規格

- IEC/EN 62368-1 (UL 2043検証・適合を含む)

音響特性

変換方式

- プリボラライズド・コンデンサーマイク



周波数特性

- 100 Hz - 16,000 Hz

感度

- 0 dBV/Pa (1020 mV/Pa)

S/N比

- 77 dB(A)

等価雑音レベル

- 17 dB(A)

KE 10マイクカプセル数

- 15

指向特性

- ビームパターン

最大音圧レベル

- 98 dB SPL

ダイナミックレンジ

- 81 dB(A)

使用環境

温度範囲

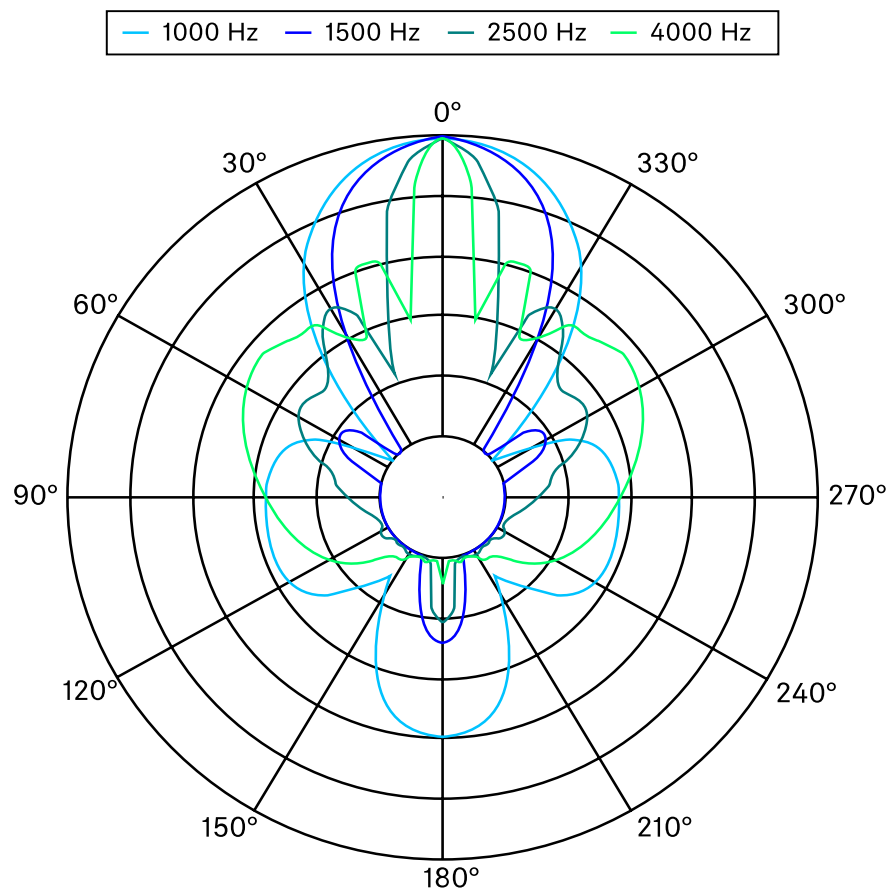
- 動作：0～40 °C (32 °F～122 °F)
- 保管：-10～60 °C (32 °F～122 °F)

相対湿度

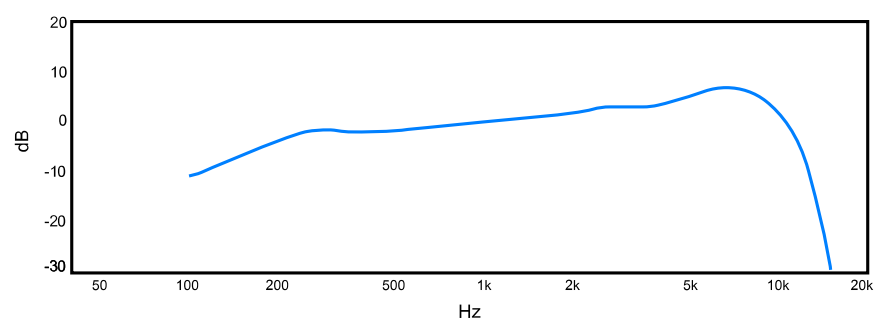
- 20-95 %、結露なきこと



ポラーダイアグラム



周波数特性





4. 規制情報

メーカー宣言、環境・廃棄に関する注意、および使用条件について説明します。

モデル：TCC M

保証

Sennheiser electronic SE & Co. KGは、本製品に24か月の保証を提供します。

最新の保証条件はsennheiser.comをご覧ください。Sennheiserパートナーへお問い合わせください。

米国でのお問い合わせ先：

Sennheiser Electronic Corporation

1 Enterprise Drive, Old Lyme, CT 06371

www.sennheiser.com

オーストラリア／ニュージーランド限定保証

Sennheiser Australia Pty

Ltdは、本製品に24か月の保証を提供します。最新の保証条件はSennheiserウェブサイトをご覧ください。Australia: sennheiser.com / New Zealand: sennheiser.com

Sennheiser製品には、オーストラリアおよびニュージーランドの消費者法により除外できない保証が適用されます。重大な不具合の場合は交換または返金、および合理的に予見可能な損失・損害に対する補償を受ける権利があります。また、許容品質を満たさないが重大な不具合には該当しない場合、修理または交換を受ける権利があります。

本保証は法令上のその他の権利・救済に追加して提供されます。本保証のいかなる規定も、法令により消費者へ認められた救済を排除、制限、変更するものではありません。

本保証に基づく請求は、Sennheiserウェブサイトからケースを作成してください。Australia: sennheiser.com/support / New Zealand: sennheiser.com/support

保証請求にかかる費用は請求者の負担となります。

Sennheiser国際保証提供者：Sennheiser Australia Pty Ltd (ABN 68 165 388 312), Level 14, Tower A Zenith Building, 821 Pacific Highway, Chatswood NSW 2067, Australia

欧州





以下の要件に適合

- 一般製品安全規則 (EU) 2023/988
- WEEE指令 (2012/19/EU)

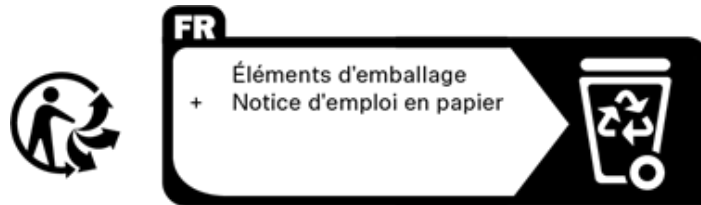


イタリ
ア:

Raccolta carta



フランス:



廃棄に関する注意

製品、充電式バッテリー／電池（該当する場合）、包装に表示された×印付きごみ箱の記号は、使用済み製品を一般家庭ごみとして廃棄せず、分別して処分する必要があることを示します。包装材は各国の分別規則に従ってください。不適切な廃棄は健康や環境へ悪影響を及ぼすおそれがあります。

廃電気・電子機器、充電式バッテリー／電池（該当する場合）、包装材を分別回収することは、再使用・リサイクルを促進し、製品に含まれる有害物質などによる健康・環境への悪影響を防ぐことを目的としています。

寿命を迎えた電気・電子機器や充電式バッテリー／電池は、材料を再利用し環境汚染を防ぐため、適切にリサイクルしてください。

充電式バッテリー／電池を製品を破損せず取り外せる場合は、分別して廃棄する義務があります（安全な取り外し方法は取扱説明書を参照）。リチウムを含む電池は火災や、ボタン電池誤飲による健康被害など特有の危険があるため、特に注意してください。長寿命電池や充電式電池を使用し、電池廃棄物を可能な限り減らしてください。

リサイクルの詳細は、自治体、回収拠点、またはSennheiserパートナーへお問い合わせください。法令により販売店に回収義務がある場合は、電気・電子機器を販売店へ返却できる場合があります。適切な廃棄は健康と環境の保護につながります。



EU適合宣言

- RoHS指令 (2011/65/EU)
- EMC指令 (2014/30/EU)

EU適合宣言の全文は sennheiser.com/download で確認できます。

英国



以下の要件に適合

- WEEE規則
(2013)



UK適合宣言

- RoHS規則 (2012)
- EMC規則 (2016)

輸入者：Sennheiser UK Ltd.

Pacific House, Third Avenue, Globe Park, Marlow

Buckinghamshire SL7 1EY, United Kingdom

米国

FCCおよびISEDに関する声明

本機はFCC規則Part 15に適合しています。使用には次の2条件が適用されます：(1)

本機が有害な干渉を引き起こさないこと、(2)

望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れること。

連絡先：Sennheiser Electronic Corporation, 1 Enterprise Drive, Old Lyme, CT 06371;
sennheiser.com





オーストラリア／ニュージーランド



中国

China RoHS 

部件名称 (Parts)	有害物质										产品环保年限 EFUP
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)	邻苯二甲酸二 (2-乙基己)酯 (DEHP)	邻苯二甲 酸丁苄酯 (BBP)	邻苯二甲 酸二丁酯 (DBP)	邻苯二甲 酸二异丁酯 (DIBP)	
金属部件 (Metal parts)	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	15
电路模块 (Circuit Modules)	x	o	o	o	o	o	o	o	o	o	15

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。
o: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。
x: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

メキシコ



韓国



R-R-SE9-TCCM

ベトナム

Kể từ ngày 1 tháng 12 năm 2012, các sản phẩm được sản xuất bởi Sennheiser tuân thủ Thông tư 30/2011/TT-BCT quy định về giới hạn cho phép đối với một số chất độc hại trong các sản phẩm điện và điện tử.

商標

Audinate®, Dante®

Audinate®およびDante®はAudinate Pty Ltd.の登録商標です。



5. お問い合わせ

製品およびサービスに関するお問い合わせ先。



